

しょうがんじ 松巖寺だより

www.shogangi.or.jp

平成二十七年夏 発行 花岡博芳

ただ今大ヒット中の『片付けの魔法』に
知足をまなぶ

寺やお墓参りはご家族でお参りください。
親から子へ、子から孫へと引き継がれます。
寺との関係も自然と理解いただけます。

※お施餓鬼の受付はサマータイム
お施餓鬼の受付時間は、八月一日から三日までの朝七時から午後一時です。場所は例年と同じ本堂です。午前中は無理という方は、午後でもかまいませんが、山門前の建物にお越しください。玄関右手の呼び鈴を押してください。

※年中行事には是非ご参加ください
年中行事（正月祈禱・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせがき）は近在の和尚様方が出頭されて厳肅に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物をしていきます。正月祈禱は一年をすがすがしい気分で行うための十分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

※霊園管理費納付御礼
霊園管理費を大多数の方に納付いただきありがとうございます。ただ、数軒のお家で未だ納付いただけていません。

御礼／お願い ご紹介 など

ておりません。お納めくださるようお願いいたします。振替用紙を紛失された方はお申し出ください。なお、郵便振替の口座番号は（00150・0・372690・松岩寺霊園管理費）です。一般の振替用紙で郵便局の窓口から送金くださっても結構です。

※各家墓所の改修時は
各家の墓所を改修する時は、施工する石材店に工事をする上での注意事項などがありますので、寺にご連絡ください。
なお、墓地を整備したため、十力所ほどの新しい区画があります。ご親戚やお知り合いが必要とされる方がおられましたら、お領けすることができます。詳しい事は寺へ直接連絡ください。

※年忌法要後の食事は寺でもできません
壇信徒会館（三階建）は、年忌法要後のお食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で二十席。三階は畳に座布団で四十名くらいまで会食できます。お使いください。

御礼・お願い・ご紹介・定例の催しをご案内するページです。いつも読んでくださる方には、いつものご案内でも、始めて読んでくださる方には、新鮮なご案内です。

日曜の朝の坐禅会（八月は休会です）

毎週日曜日の朝六時から七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください、初心の方にも丁寧に坐り方をご案内します。

三十分ほど坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時には終わりです。

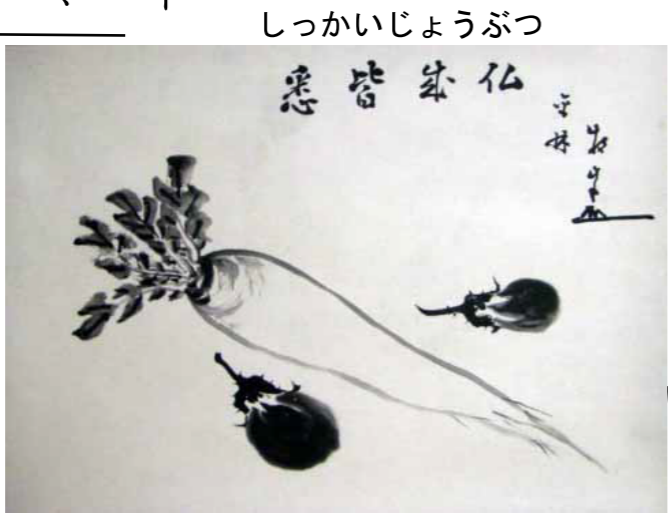
ごいっしょに姿勢をただして、呼吸を調べてみませんか！

教養講座

【金つぎ教室】講師 花輪滋實
第三土曜日 午後一時半～四時半まで

【仏像を彫る会】講師 高野竜生
第二・四日曜日 午後一時半～四時半まで

【声を出して元気になる】講師 加藤純子
月に一度 午後一時半～三時



しっかいじょうぶつ

新聞朝刊「旬の人の人」2015年6月2日付け。
「モノに魂を感じ」というのは、禅のことばでいうと、「悉皆成仏（しっかいじょうぶつ）」っていうんですよ。「すべてのモノに情がある」という意味です。『片付けの魔法』には、この気分が流れているから、外国人が日本を感じてくれてヒットしているのは、そんな実用書に次の一節があります。

「片付けをしたあと、多くの人が物欲が減ったといえます。（途中略）片付けをしたときめくモノだけが残っている状態になると、必要なモノはそろっている、と思えるようになります。それはなぜかというところ、「足ることを知るから」だといえます。

この本は整理収納の実用書で、宗教書ではありません。そうした本が、知足だなんて。仏僧である私が、「物欲を捨てよ」なんて言っても、誰も聞いてはくれない。多くの人が語り、経典に何度も出てくることばだから、少し鮮度が落ちていきます。鮮度が落ちていても、片づけコンサルタントが言うから驚きがあるのです。

さて、わが収納に目をやれば、穴があいた白足袋が捨てられずに十足ほどたまっていて、出るのはため息ばかりです。

近藤麻理恵著『片付けの魔法』（サンマーク出版）が今、話題です。初版は平成十一年ですから、長い期間にわたり売れ続け、アメリカでも翻訳されてヒットしているといえます。何故か。著者自身が新聞のインタビューにこたえて、次のように言っています。
「うれしいのは世界の人々が私の片づけ方に日本を感じると言ってくれること。捨てる時に人形の目を隠すなどモノに魂を感じ、感謝する日本人の感覚は、大量消費を続ける世界を少し良くする力があると思う」（日経